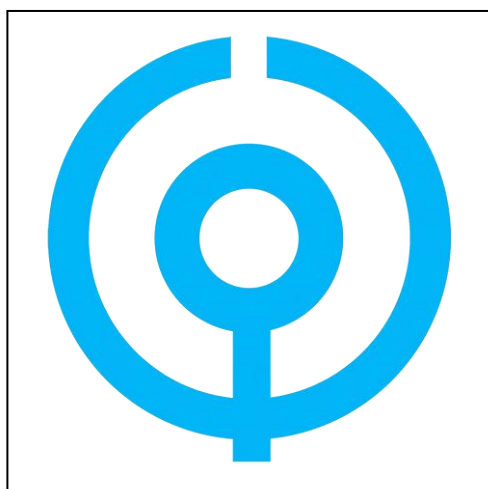


事業報告書

平成29年度
自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日



公益社団法人全国子ども会連合会

東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル
<http://www.kodomo.or.jp>

■事業統括

まず初めに、元全子連副会長が起こした強制わいせつ事件で被害にあわれた方、ご家族の皆様にご心より深くお詫び申し上げます。

また、子ども会関係者はもとより、広く社会教育に携わっておられる皆様方には大変なご迷惑をお掛けし衷心よりお詫び申し上げます。

子ども会にとって厳しい社会環境の中で、このような不祥事が起きてしまったことは誠に遺憾であります。2025年問題をはじめ、これからの日本は未知の課題に直面し、英知を結集して問題を解決していくことが求められてきています。世界を見渡しましても、政治・経済・社会の大きな変動期が続いております。

そのような中、子ども会も厳しい状況が続いており、当法人が存続していくことができる限界と言われてきた安全共済会加入数が350万人となってしまいました。このことは、これまでと同じことは今後継続できなくなってしまうということです。

安全共済会（新しい制度共済）へ移行してから、当法人の運営は都道府県子連・政令指定都市子連・市区町村子連・単位子ども会への支援を中心としてまいりました。この支援を支えてきたのが350万人の共済加入者の皆さんです。従いまして、今まで行ってきた諸支援策につきまして、その見直しをせざる負えない状況になってしまいましたことは誠に申し訳なく残念なことです。

また、昨年も申し上げましたが、日本では事務職のIT化（事務の効率化）が遅れていると言われてきましたが、AIが今まで人がやっていた労働の多くの部分を担っていく時代が来るスピードが早くなると言われております。子ども会関係団体はその中でもまだまだ遅れているのが現状です。情報化社会の進展に振り回されることなく、的確に対応していくことが従来以上に求められていることも確かです。

このような中でも、子ども会がこれから発展するために何を考え、何をしていかなければならないかを追求し、実行に移し始める機運も出てまいりました。

平成29年度は、昨年を引き続き今後の子ども会の在り方を模索検討する中で前向きな動きが出てきたことは明るい未来への第1歩と感じております。

1. 地域で子ども会の今後を検討する地区子ども会推進研究会が少しずつ具体的に前に進め始めました。
2. 子ども会未来委員会では、子ども会の理念から如何に今後の子ども会活動を発展させることができるかへのスタートが切られました。
3. 全子連ユースを立ち上げ、全国シニア・リーダーの組織化へ向けての活動が始まりました。
4. 総合的な安全啓発活動を進め、全国で多くの指導講習会を開催することで、安全・安心に対する意識変革を図ってきました。共済金の支払いも大幅に減少しました。

これらの取組みを継続発展させていくことで、これからの子ども会が地域とともに発展できることを確信しております。

■組織の状況

I 組織の状況

1 平成29年度の会員状況

正会員：58（45都道府県＋13政令指定都市）

2 役員に関する事項

(1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
河本 功 (静岡県)	会長		平成28年 5月30日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成28年 5月30日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	副会長	総務財務	平成28年 5月30日	※	
池田 龍男 (福岡県)	副会長	共済事業	平成28年 5月30日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成28年 5月30日	※	
内藤 進 (栃木県)	理事		平成30年 1月24日	※	
小林 幸男 (岐阜県)	理事		平成28年 5月30日	※	
正木 明 (石川県)	理事		平成28年 5月30日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成28年 5月30日	※	
美田 耕一郎 (鳥取県)	理事		平成30年 1月24日	※	
丸山 康昭 (熊本県)	理事		平成28年 5月30日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成28年 5月30日	※	
成田 國英 (学識経験)	理事		平成28年 5月30日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成28年 5月30日	※	
吉寄 三義 (学識経験)	常務理事		平成28年 5月30日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成28年 5月30日	※	
梅本 寛人 (学識経験)	監事		平成29年 5月30日	※	

※任期満了は、平成30年度定時総会の終結の時。

(2) 平成29年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	退任の理由
中川 輝夫 (茨城県)	理事		平成28年5月30日 ～平成29年5月24日	県代表者辞任のため

II 都道府県・指定都市子連の状況

1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
宮城県	佐藤 眞紀子	熊谷 芳明	平成29年5月23日	
群馬県	小島 敏雄	後藤 守吉	平成29年5月25日	
茨城県	大月 光司	中川 輝夫	平成29年5月24日	
岡山市	関野 雅夫	久世 英一	平成29年6月4日	
長崎県	北御門 長蔵	中島 公彦	平成29年6月2日	
富山県	舘 勇将	稲垣 晴彦	平成29年12月1日	

2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

■事業報告

I 公1事業（連合会事業）

A 子ども会活動の指導及び育成事業

(1) シニア・リーダー（青年リーダー）の子ども会活動への積極的参加

①シニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

「子どもの手による子ども会」推進役、ジュニア・リーダーの育成者、地域の街づくりの担い手、将来育成者・指導者として子ども会の発展に尽力すべく、平成29年度、全子連ユースを立ち上げその実現のための活動を開始した。

○平成29年度全子連ユース会員の推薦状況

6月2日全国へ依頼文書を発信、男性34名、女性26名、合計60名の推薦があった。

- ・推薦者2名→23県・市子連 / 推薦者1名→13県・市子連
- ・推薦者なし→23県・市子連 / 会長推薦1名

○平成29年度全子連ユース運営会議

9月のシニア・リーダー研修会の方向付けとプログラムの立案、講師の選定等をシニア・リーダー自らが協議した。

ア) 日程：平成29年8月19日（土）～20日（日）

イ) 場所：全子連ビル2F会議室

ウ) 参加者：34名 講師2名 全子連スタッフ7名

エ) 参加費：5,000円

オ) 実施した主な内容

<1日目（19日）>

主催者挨拶 全国子ども会連合会 丸山 康昭 会長

開催趣旨説明 ～根幹は『人づくり』にあり～

全国子ども会連合会 河本 功 副会長

自己紹介・3分間スピーチ ～『人づくり』をテーマに～

出席者全員

基調講演 ～「シニア・リーダーがつくる未来の子ども会」～

講師 アトリエ自遊楽校 主宰 新田 新一郎 氏（全子連理事）

報告書取りまとめ役の選出

ワークショップ①

～「シニア・リーダー研修会を自分たちでつくる」～

ファシリテーター 聖徳大学准教授 神谷 明宏 先生

情報交換会

< 2 日目 (2 0 日) >

ワークショップ② ～「シニア・リーダー研修会の実行案をつくる」～

ファシリテーター 聖徳大学准教授 神谷 明宏 先生

まとめの会 ～「アイデアから実行へ」～

ファシリテーター 聖徳大学准教授 神谷 明宏 先生

講師 アトリエ自遊楽校 主宰 新田 新一郎 氏 (全子連理事)

閉会の挨拶 全国子ども会連合会 河本 功 副会長

○平成 2 9 年度第 5 1 回中央会議・研究大会での分科会を担当 (自肅)

全子連ユース会員の中から分科会運営担当者を募集し、21名の応募があり、午前午後一日のプログラムを立案し実行計画をたてたが、大会そのものが自肅となったため、実現されなかった。平成 30 年 7 月 15 日開催予定の中央会議・研究大会で担当予定。

②シニア・リーダー研修会

平成 29 年度全国子ども会シニア・リーダー研修会

ア) 日程 : 平成 29 年 9 月 23 日 ~ 24 日

イ) 場所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ) 参加者 : 83 名 オブザーバー 3 名 講師 2 名 全子連スタッフ 9 名

エ) 参加費 : 5,000 円

オ) 実施した主な内容

< 1 日目 (23 日) >

シニア・リーダーの課題と展望 新田 新一郎 理事

ワークショップ①「ともに学ぶ」

子ども会のブランディングから企画まで 熊本県 濱口 洋輔さん

ワークショップ②

コミュニケーション能力を高めるための予備演習 神谷 明宏 先生

< 2 日目 (24 日) >

ワークショップ③「専門家の指導をうける」

コミュニケーション能力アップのためのコーチングワークショップ

ウメハナリレーションズ 松原 美里 先生

全体会

新田 新一郎 理事

神谷 明宏 先生

(2) ジュニア・リーダーの指導・育成

①ジュニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

29年度に地区子ども会推進研究会並びに全子連ユースの運営の中で具体的な方策を研究した。

②地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会

ア) 目的 : 研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容 : 青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 負担金 : 平成28年度の共済会加入人数×1.5円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	29.8.11~12 9.16~18	ネイパル砂川	211名
東北	岩手県	29.8.3~6	国立岩手山青少年交流の家	245名
関東甲信越静	千葉県	29.8.18~20	千葉県立手賀の丘少年自然の家	186名
(東京都)	東京都	29.7.28~8.1	東京都新島村式根島 「釜の下キャンプ場」	33名
東海北陸	福井県	29.8.11~8.13	福井県立芦倉青年の家	142名
近畿地区	兵庫県	29.8.11~13	兵庫県豊岡市但東町野外活動施設 「平田自然村」	20名
中国・四国	広島県	29.8.18~20	広島県立福山少年自然の家	210名
九州	大分県	29.8.18~8.20	大分県立「九重青少年の家」	277名
指定都市	広島市	29.8.4~6	三滝少年自然の家、平和公園ほか	100名
合計				1,424名

(3) 全国子ども会連合会表彰

・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰

・H30年7月 指導者・育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞、全国子ども会を退任された代表者への表彰を実施予定

表彰区分	団体数・個人数
単位子ども会組織(団体)	12団体
ジュニア・リーダー組織(団体)	7団体
シニア・リーダー組織(団体)	6団体

指導者・育成者（個人）	70名
指導者組織及び育成組織（団体）	8団体
奨励賞（団体）	4団体
全国子ども会を退任された代表者	3名

B 指導者及び育成者相互の連携事業

（１）第51回（平成29年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会

滋賀県で開催予定の大会は、磯田元副会長の不祥事により自粛

ア) 日 程：平成30年2月14日（金）～16日（日）

イ) 会 場：滋賀県びわ湖プリンスホテル

（２）地区子ども会育成研究協議会

ア) 日 程：地区会長会議において内容を検討し、子ども会発展のため指導者、育成者の情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資するため開催した。

イ) 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ) 負 担 金：平成28年度の共済会加入人数×4円を限度に運営費として
実費を全子連が負担した。

地 区	担当県	開催月日	会 場	参加者数
（北海道）	北海道	10/14（土）～15（日）	かでの 2.7	90名
東 北	秋田県	11/11（土）～12（日）	男鹿観光ホテル	158名
関東甲信越静	神奈川県	10/29（日）～30（月）	横浜ベイシェ ラトンホテル& タワーズ	443名
（東京都）	東京都	11月26日（日）	江戸川区東部 区民館	159名
東海・北陸	三重県	10/28（土）～29（日）	神宮会館	320名
中国・四国	鳥取県	11/18（土）～19（日）	大山ロイヤル ホテル	300名
九 州	沖縄県	11/4（土）～5（日）	沖縄県男女共 同参画センタ ー「ている る」	240名
指 定 都 市	北九州市	11/4（土）～5（日）	北九州国際会 議場	218名

(3) 地区子ども会推進研究会

ア) 日 程：下記日程で開催した。

イ) 内 容：子ども会発展のため指導者、育成者の協議の場として地区の子ども会活動の振興に資するため開催した。

ウ) 負 担 金：平成28年度の共済会加入人数×1円を限度に運営費の一部を全子連が負担した。

地区	担当県	開催日・会場
東北地区	秋田県子連	①H29. 11/26 仙台市民会館
関東甲信越静岡地区	茨城県子連	①H29. 7/9 全子連ビル ②H29. 9/16～17 水戸プレジデントホテル
東京	東京都子連	①H30. 1/19 都子連事務所
東海北陸地区	三重県子連	①H29. 12/26 名古屋市中区橘コミュニティセンター ②H30. 3/12 名古屋市中区橘コミュニティセンター
近畿地区	和歌山県	①H29. 4/13 (奈良県) ②6/7 (滋賀県) ③8/23 (和歌山) ④10/24 (大阪府) ⑤11/29 (大阪府) ⑥H30. 2/16 (大阪府)
中国四国地区	島根県子連	①H29. /7/8 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館 ②H29. 10/14 岡山市市民会館 ③H30. 1/27 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館 ④H30. 3. 10 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館
九州沖縄地区	福岡県子連	①H29. 10/14 福岡市八百治博多ホテル ②H30. 1/20 福岡市八百治博多ホテル
指定都市地区	名古屋市子連	①11/4 北九州市国際会議場

(4) 子ども会未来委員会

地 区	氏 名	所 属	地 区	氏 名	所 属
北海道	木村 謙治	北海道	近 畿	小川 佳映	大阪府
東 北	高橋 昌樹	青森県	近 畿	浅見 真一	兵庫県
東 北	野崎 一	秋田県	中国四国	美田 耕一郎	鳥取県
関東甲信越静岡	矢後 紀夫	栃木県	中国四国	山本 哲哉	山口県
関東甲信越静岡	関根 雅治	埼玉県	九 州	井立 伸一	熊本県
関東甲信越静岡	大作 公明	長野県	九 州	白水 真由美	宮崎県

東京都	藤代 國忠	東京都	九州	青矢 順子	鹿児島県
東海北陸	清水 保夫	富山県	指定都市	木戸 秀典	名古屋市
東海北陸	福井 靖	愛知県	指定都市	藤田 悟	横浜市

ア) 日 程：下記日程で開催した。

イ) 内 容：全国的な視点で、子ども会の今後の在り方等を検討し、将来に亘り子ども会の発展に寄与するため協議した。

①第1回子ども会未来委員会

平成29年7月1日(土)～2日(日) 全子連ビル2階会議室
グループワークを中心に次の内容で検討する。

- ・平成28年度地区子ども会推進研究会の各地区報告
- ・子ども会の現状への共通認識
- ・未来委員会として何年先まで考えるか
- ・現状の問題点
- ・解決可能な問題か不可能な問題か
- ・解決可能な問題⇒課題は何か
- ・具体的な解決策は

②第2回子ども会未来委員会

平成29年9月30日(土)～10月1日(日) 全子連ビル2階会議室
グループワークを中心に次の内容で検討する。

各都道府県、各市町村子連で子ども会について目的を説明している資料を全子連で集めて、それを元に、更に鳥取県子連のたたき台も合わせて、ハンマーヘッドで未来委員が検討し、目的の統一を図る。

子ども会の理念(目的)や育成会の理念(目的)を説明する短い文書が欲しい。それは、関わっていく時の立ち戻る場所、になる。

③第3回子ども会未来委員会

平成29年12月16日(土)～12月17日(日) 全子連ビル2階会議室
グループワークを中心に次の内容で検討する。

未来委員会としての具体的成果物について(全体会議)目的(理念)等の提示等どこまで進めるか。

公益社団法人全国子ども会連合会の理念

「日本中の子ども達の真の成長と幸福(しあわせ)のための子ども会」

昭和40年この理念のもとに、全国子ども会連合会は誕生しました。今も変わらず、日本中の子どもたちの真の成長と幸福（しあわせ）を実現するため活動しています。半世紀を過ぎた今、私たちは現代を生きる子どもたちを取り巻く環境に照らし合わせ、絶ゆることなく、理念を追求し続け真の子ども会活動を目指します。

平成29年12月17日
 全国子ども会連合会
 子ども会未来委員会

④第4回子ども会未来委員会

平成30年2月24日（土）～2月25日（日） 全子連ビル2階会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

- ・ 連合組織が担う役割について
- ・ 中央会議での部会担当について

C 講習認定登録事業

(1) 講習認定事業について

引き続き検討課題として継続する。

(2) ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東京都	8名	埼玉県	18名	札幌市	33名
川崎市	17名	千葉県	58名	青森県	1名
愛知県	22名	東京都	1名	埼玉県	23名
高知県	8名	川崎市	2名	千葉県	11名
北九州市	1名	愛知県	6名	北九州市	1名
沖縄県	4名	高知県	2名	沖縄県	8名
		沖縄県	51名		
合計	60名		138名	合計	77名

D 資料の刊行情報提供事業

(1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。25年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県のホームページを作成し、27年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成、28年度は兵庫県、愛媛県、静岡県、29年度は徳島県、栃木県を

作成し合計 28 件。

合計 28 県・市子連のホームページを作成。

各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

(2) 情報収集・提供

共済事業についてのデータを提供した。

E 企業団体等連携事業

(1) 企業・団体との共同による事業の展開

28 年度中は成果としての結果は得られなかったが、29 年度のサンプリング等の企業支援に結びついた。

商品・名称	期間	対象地域	数量
アサヒ飲料 「三ツ矢サイダー」 5 月サンプリング	平成 29 年 5 月	全国 (沖縄県、島嶼部を 除く)	100,080 本
Johnson&Johnsonバンドエイド サンプリング	平成 29 年 6 月 ~7 月 31 日	埼玉県・東京都・神 奈川・横浜市・川崎 市・相模原市・名古 屋市・大阪府・大阪 市・福岡県・長崎 県・熊本県・熊本 市・大分県	50,000 セット
アサヒ飲料 「三ツ矢サイダー」 ラジオ体操サンプリング (7 月)	平成 29 年 7 月	全国 (島嶼部を除く)	237,510 本
サントリー 「GREEN DA・KA・RA やさしい 麦茶」 夏休みラジオ体操サンプリング	平成 29 年 7 月 21 日 ~8 月 31 日	首都圏 埼玉県・横浜市・千 葉県・神奈川県・東 京都・相模原市	50,016 本 (カード 同数)
アサヒ飲料 「三ツ矢サイダー」 ラジオ体操サンプリング (8 月)	平成 29 年 8 月	全国 (沖縄県、島嶼部を 除く)	177,480 本

(2) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定
継続申請 10 件・新規申請 4 件 契約終了 2 件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタミンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・ カルシウム配合のリポビタミンD	継続
Mamorinoシリーズ	KDDI 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもりケータイ	ソフトバンクモバイル 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続

キッズケータイ	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
Miraieシリーズ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
ビオサーージュ アウトドア ビオ ミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
マモリーノ ウォッチ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした通話もできる防水対応キッズウォッチ	継続
TONE m15	トーンモバイル株式会社	利用時間や利用機能をコントロールできることで、子どものニーズにも応えつつ保護者の不安を解消した子供用スマートフォン	継続
LEDシーリング 【まなびのあかり】	日立アプライアンス株式会社	文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整えるLEDシーリング	継続
メルスプラン	株式会社メニコン	コンタクトレンズ	継続
キッズバック	ソースネクスト株式会社	スマホ学習アプリ、居場所の確認、使用時間を管理できるアプリ	新規
スマモリ	Jiransoft Japan	スマホ使用時間、使用アプリの制限ができるアプリ	新規
はみっくベア	Hamee(株)	子どもが家でひとりでもスマホを使わず沢山のひとと話ができるクマ型メッセージロボット	新規
Wonder Post	インベンションボックス	不特定者ではなく対面登録でつながるメッセージアプリ。	新規
ドコッチ	株式会社NTTドコモ	子どもの見守り機能がついたスマートウォッチ	販売終了のため契約終了
こどもニ	株式会社 プロジェクトメイ	ウォークレコーダー	契約終了

F 助成金事業

(1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

スポーツの練習・競技中の「ケガ防止対策」指導者養成講習会

子どもの体験活動におけるケガ防止対策を確立する為には、「メンタル」と「フィジカル」の両面からのアプローチが欠かせないが、後者は、正しく意図的に組み込まれにくいようである。本事業では、その部分を集中的な講義と実習により参加者に習得してもらう事を目的とする。内容は、科学的な根拠と最新の情報に基づく、現場で指導にあたる誰もが実行出来る最も重要な項目とし、その普及にあたる、より多くの指導者を養成する。

上記の目的を果たすため、ゆめ基金に申請した計画どおり、全国9会場で開催し、延べ407名が受講、修了証を授与した。

会場名	共催団体	開催期日	受講者数
相模原	相模原市子ども会育成連絡協議会	9月9日	31名
長野県上松町	長野県子ども会育成連合会	9月10日	34名

北海道帯広	北海道子ども会育成連合会	10月1日	32名
広島市	広島市子ども会連合会	10月29日	37名
名古屋市	名古屋市子ども会連合会	12月16日	64名
兵庫県姫路市	兵庫県子ども会連合会 姫路市子ども会連合会	H30年1月21日	85名
大阪市	大阪市子ども会育成連合協議会	H30年1月28日	37名
福岡市	福岡市子ども会育成連合会	H30年3月4日	51名
仙台市	東北地区子ども会育成連絡協議会 仙台市子ども会連合会	H30年3月25日	36名
合計	9会場		407名

(2) 公募寄付金の募集

九州（北部）豪雨被害緊急寄付金の募集を平成29年7月12日から平成29年9月30日まで行いました。全国109団体よりご支援を頂き、総額2,898,713円の寄付金が集まりました。平成30年度に被災地へ県子連を通じて送金予定。

G 賠償責任保険の契約

(1) 平成29年度発生事故（報告件数、支払状況）

- ① 対人事故報告件数=1件
 - ・ 支払対象外・請求放棄 1件
- ② 対物事故報告件数=179件
 - ・ 支払済 129件 4,309,098円
 - ・ 手続き中 19件
 - ・ 支払対象外・請求放棄 件
- ③ 対人+対物事故報告件数=0件
 - ・ 支払対象外・請求放棄 0件

(2) 平成28年度以前発生事故（支払状況）

- ① 対人事故
 - ・ 支払済 0件 0円
- ② 対物事故
 - ・ 支払済 26件 1,367,584円
- ③ 対人+対物事故
 - ・ 支払済 0件 0円

H 物販事業

(1) 売上金額（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

5,006,361円

I 共済事業 1. 加入状況

(単位:名)

幼児	子ども	指導者・育成者	計
			3, 5 0 2, 3 2 3

2. 共済金支払状況

(1) 平成 24 年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	1	450,000	子ども1名、
疾病・傷害	0		
計	1	450,000	

(2) 平成 26 年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	1	9,417	入院・通院に関する給付
計	1	9,417	

(3) 平成 27 年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	1	305,873	大人1名
疾病・傷害	5	782,586	入院・通院に関する給付
計	6	1,088,459	

(4) 平成 28 年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	4	1,040,000	子ども3名、大人1名
疾病・傷害	617	16,272,686	入院・通院に関する給付
計	621	17,312,686	

(5) 平成 29 年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	大人1名
後遺障害	1	260,000	大人1名
疾病・傷害	2,470	32,689,237	入院・通院に関する給付
計	2,472	38,949,237	

(6) 合計

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	大人1名
後遺障害	7	2,055,873	子ども4名、大人3名

疾病・傷害	3,093	49,753,926	入院・通院に関する給付
合計	3,101	57,809,799	

3. 立入検査について

平成29年10月11日～10月13日

指摘事項等詳細は別紙2のとおり

4. 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、35,017,230円を支出。

5. 準備金等の積立について

①責任準備金について

純掛金×50÷1000=4,011,358円

平成28年度共済純掛金の総額=80,227,149円(a+b)

a 23円×3,469,695人(加入者数)=79,802,985円(前期4月～9月加入)

b 13円×32,628人(加入者数)=424,164円(後期10月～3月加入)

②普通支払備金について

28年度分 40,158円

29年度分 3,383,825円

合計 3,423,983円

③IBNR備金の算出方法

平成22年12月27日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

15,019,699円

④準備金について

c 共済事業経常収益計 195,909,081円

d // 経常費用計 179,637,563円(準備金以外)

剰余金の一部を準備金とする

c-d=21,271,518円のうち5,000,000円を準備金として計上した。

準備金の今期増加分については、現預金の残額の関係で6月に積立資産に計上する。

6. 共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況

(単位:円)

項目	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
流動資産	44,717,643	48,346,294
固定資産	177,914,126	156,444,245
資産合計	222,631,769	204,790,539
負債合計	191,747,821	190,178,109

正味財産	30,883,948	14,612,430
準備金	135,582,447	130,582,447

② 損益の状況 (単位:円)

項目	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
当期収入	195,909,081	209,734,498
当期支出額	179,637,563	209,734,498
事業費	179,637,563	209,734,498
うち共済金	57,809,799	77,989,018
経常外費用	179,637,563	0
当期収支差額	16,271,518	0

7. 安全共済会制度検討委員会

委員：朝日照夫（北海道）、矢野均（青森県）、山上武久（神奈川県）、宮澤淳治（長野県）
 齋藤武（東京都）、小野欽一（三重県）、正木明（石川県）、安部侃（滋賀県）
 石橋寿恵夫（大阪府）、岡本康成（広島県）、磯田謙一（島根県）
 池田龍男（福岡県）、松尾孝一（長崎県）、上地憲正（熊本市）

第4回検討委員会

平成29年11月22日（水） 12:30～16:00

業務委託費実態調査を検討した結果、委託費については当面変更しないという委員会の結論になり、本委員会も今回の委員会を最終回とした。

8. 安全普及啓発活動

- ・子ども会安全啓発指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。
- ・「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。
- ・スポーツ活動中の事故対策として、事故防止マニュアルの指導本を作成し、専門家によるセミナーを全国9か所で開催した。

(1) 子ども会安全啓発初級・中級・上級指導者認定事業

県・市	初級	中級	上級
北海道	15名	0名	0名
札幌市	0名	0名	0名
青森県	14名	6名	0名
岩手県	6名	0名	0名
宮城県	19名	2名	0名
仙台市	0名	0名	0名
秋田県	12名	0名	0名
山形県	14名	0名	0名
福島県	20名	0名	0名

茨城県	13名	2名	0名
栃木県	2名	1名	0名
群馬県	67名	5名	0名
埼玉県	0名	0名	0名
千葉県	10名	0名	0名
東京都	14名	0名	0名
神奈川県	0名	0名	0名
横浜市	0名	0名	0名
川崎市	0名	0名	0名
相模原市	0名	0名	0名
新潟県	5名	1名	0名
富山県	0名	0名	0名
石川県	14名	4名	0名
福井県	13名	0名	0名
山梨県	3名	3名	0名
長野県	4名	2名	0名
岐阜県	47名	0名	0名
静岡県	19名	0名	0名
愛知県	50名	0名	0名
名古屋市	0名	0名	0名
三重県	0名	0名	0名
滋賀県	1名	0名	0名
大阪府	1名	0名	0名
大阪市	9名	0名	0名
兵庫県	103名	0名	0名
神戸市	0名	0名	0名
奈良県	2名	0名	0名
和歌山県	13名	0名	0名
鳥取県	13名	0名	0名
島根県	0名	0名	0名
岡山県	6名	0名	0名
岡山市	0名	1名	0名
広島県	0名	0名	0名
広島市	0名	0名	0名
山口県	0名	0名	0名
徳島県	0名	0名	0名
香川県	0名	4名	0名
愛媛県	9名	1名	0名
高知県	3名	0名	0名
福岡県	4名	3名	0名
北九州市	0名	0名	0名
福岡市	0名	0名	0名
佐賀県	15名	1名	0名
長崎県	0名	1名	0名
熊本県	4名	0名	0名

熊本市	10名	1名	0名
大分県	0名	3名	0名
宮崎県	4名	4名	0名
鹿児島県	48名	2名	0名
沖縄県	13名	0名	0名
合計	619名	46名	0名

(2) 子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	北海道	6月11日	15名
北海道・東北	青森県	12月10日	14名
北海道・東北	岩手県	10月28日	6名
北海道・東北	宮城県	6月18日	21名
北海道・東北	秋田県	7月8日	12名
北海道・東北	山形県	6月25日	14名
北海道・東北	福島県	6月10日	20名
関東甲信越静	茨城県	6月4日	18名
関東甲信越静	栃木県	6月18日	35名
関東甲信越静	群馬県	5月14日	64名
関東甲信越静	埼玉県	5月28日	18名
関東甲信越静	千葉県	11月4日	10名
関東甲信越静	東京都	10月28日	15名
関東甲信越静	神奈川県	6月4日	19名
関東甲信越静	新潟県	7月9日	12名
関東甲信越静	長野県	7月15日	43名
関東甲信越静	静岡県	6月25日	12名
東海北陸	富山県	11月26日	17名
東海北陸	石川県	9月3日	14名
東海北陸	福井県	12月9日	19名
		3月4日	8名
東海北陸	岐阜県	1月20日	59名
東海北陸	愛知県	12月9日	54名
近畿	兵庫県	5月13日	57名
		10月21日	21名
		3月10日	16名
		3月18日	12名
近畿	和歌山県	7月1日	17名
中国・四国	鳥取県	7月2日	8名
中国・四国	徳島県	6月25日	12名
中国・四国	愛媛県	1月14日	9名
中国・四国	高知県	12月10日	6名
九州	福岡県	6月24日	16名
九州	佐賀県	6月25日	4名

		1月14日	11名
九州	熊本県	7月8日	12名
九州	鹿児島県	7月15日	48名
指定都市	相模原市	6月10日	12名
指定都市	大阪市	12月10日	9名
合計			789名

(3) 子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	岩手県	10月21日・22日	12名
関東甲信越静	東京都	1月13日・14日	37名
九州	熊本市	9月9日・10日	15名
合計			64名

(4) 子ども会安全啓発上級指導者養成講習会
実施せず。

(5) 各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、3地区35縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円限度に交付した。

県・市・地区	活動名
北海道	平成29年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成29年度留萌地区子ども会安全対策研修会
	平成29年度釧路地区子ども会安全対策事業研修会
	平成29年度根室地区子ども会安全対策事業研修会
岩手県	平成29年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成29年度ジュニア・リーダーセミナー
	平成29年度岩手県子ども会育成研究大会
宮城県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
山形県	平成29年度安全啓発初級指導者養成講習会
	安全普及啓発活動関係資料配布
仙台市	平成29年度インリーダーならびに育成者実技研修会
秋田県	平成29年度ジュニア・リーダー等冬季研修会及び安全普及啓発活動
茨城県	平成29年度子ども会安全啓発指導者養成講習会（初級）
	平成29年度子ども会育成基幹指導者養成講習会
	平成29年度2017子ども会リーダー研修会
栃木県	平成29年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
埼玉県	子ども会 KYT 指導者養成講習会【初級コース】
神奈川県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会の講義とワークショップ
	2017安全教育研修会「ぼうさいマップをつくろう」
横浜市	KYTってなあに？
	みんなで行こう 防災体験
川崎市	安全教育研修会 少年消防クラブ（多摩地区・川崎地区）

	怪我をさせないためのヨガ
新潟県	青少年防災リーダー養成研修
富山県	広域圏安全教育（KYT等）推進事業（県内5箇所）
福井県	ユースリーダー研修会
	平成29年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
長野県	安全啓発指導者養成講習会（初級）
	長野県子ども会育成研究協議会
	ケガ防止対策指導者養成講習会
岐阜県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
静岡県	安全教育指導者養成研修会・安全啓発初級指導者養成講習会
愛知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
名古屋市	平成29年度安全講習会
三重県	交通安全教室
大阪府	平成29年度安全教育推進研修会
大阪市	安全普及啓発活動講習会
兵庫県	子ども会でまなぼうさい
鳥取県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
島根県	城北地区子ども会「正しい自転車乗り方教室」
	島根県子ども会ジュニア・リーダー養成研修会
岡山県	KYT登山（沙美アルプス）
徳島県	安全啓発初級指導者養成講習会
愛媛県	平成29年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
高知県	安全啓発初級指導者養成講習会
福岡県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
福岡市	平成29年度安全研修会～KYT危険予知のススメ～
佐賀県	安全啓発初級指導者養成講習会
長崎県	野外活動（キャンプ）講習会
	第7回諫早市子ども会リーダー育成者研修会
鹿児島県	安全啓発初級指導者養成講習会
東北地区	平成29年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
関東甲信越静地区	平成29年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
九州地区	平成29年度子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

9. 今後の課題

（1）共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して進める。

（2）財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進める。

（3）業務委託先である都道府県・指定都市市連との連携を強化し、リスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していく。

（4）事故に占める割合がスポーツ事故が大きく、その軽減が重要である。

（5）共済金の支払い率の格差の是正が重要である。

<その他>

(1) 事務担当者会議

①平成29年度事務担当者研修

北海道：20名。平成29年4月17日午後 札幌市。18日午前 北海道。

東北（仙台市）：16名。平成29年4月11日 11時～16時。

関東甲信越静（全子連ビル）：22名。平成29年4月17日。11時～16時。

東海・北陸（三重県）：14名。平成29年4月24日。13～16時。

近畿（滋賀県）：13名。平成29年4月10日。11時～16時。

中国・四国（岡山県）：17名。平成29年5月11日。13時～16時。

九州（沖縄）：17名。平成29年4月15日。9時～12時。

政令指定都市（名古屋）：10名。平成29年4月27日。13時～16時。

内 容：

1. 「PTA等共済法に基づく子ども会の共済事業について」
2. 全子連事業の業務事務について
3. 安全共済会の運営について
4. 共済制度検討委員会について
5. 安全普及啓発活動について

II 収益事業

1 全子連ビル管理・賃貸事業

(1) 賃貸事業

① NPO法人東京都子ども会連合会賃貸収入	1, 192, 320円/年
② 貸し会議室賃貸収入	57, 780円

(2) ビル管理事業

① エレベーター保守点検費用	233, 280円/年
② 警備費用	149, 040円/年

(3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

① 建替準備資産	当年度繰入	1, 646, 260円
	当年度末	21, 401, 380円
② 大規模修繕準備資産	当年度繰入	2, 865, 000円
	当年度末	17, 190, 000円

Ⅲ 法人の運営について

1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 保険会社を定年退職した専門職員の2人が共済の事務処理を効率化した。
事業、総務、経理の効率化へ尽力してきた。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

2. 傷害保険等の契約

- 1) 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象
 - ・加入者数 156人
 - ・支払保険金 2件
 - ・申請中 1件
- 2) ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、
無償ボランティアを対象
 - ・加入者数 6,068人
 - ・支払保険金 1件
 - ・請求待ち 0件
 - ・治療中 0件

3. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成29年 5月30日	出席者 59名	1. 平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認の件	承認
	書面決議 3名	2. 役員（監事）の選任の件	承認
	委任状 7名	3. 平成29年度事業計画及び収支予算書の承認の件	承認
	欠席者 0名	報告事項 (1) 監事監査報告 (2) 平成28年度地区子ども会推進研究会についての報告 (3) 平成28年度熊本地震災害救援募金活動報告の件 (4) 全国子ども会安全啓発公認指導者資格認定規程についての報告	

		(5) 共済金支払状況報告の件 (6) 平成 29 年度共済加入状況について報告の件	
臨時総会 平成 30 年 1 月 24 日	出席者 58 名 書面決議 4 名 委任状 5 名 欠席者 0 名	1. 役員選任の件 内藤進、美田耕一郎氏を理事に選任 2. 磯田謙一元副会長の除名につき承認の件 3. 第 51 回全国子ども会育成中央会議・研究大会自 粛の承認の件 4. 定款改正の承認の件 5. 平成 30 年度運動方針・事業計画の承認の件 6. 平成 30 年度収支予算書等の承認の件	承認 承認 承認 議案取下げ 一部承認 一部承認

4. 理事会について

期 日	出 欠	内 容	審議結 果
第 1 回 平成 29 年 4 月 14 日	出席者 13 名 欠席者 2 名 監事 1 名 監事 欠席者 0 名	1. 平成年度事業計画(案)の承認 2. 平成29年度予算(案)の承認 3. 資金調達及び設備投資の見込み 4. 役員の報酬及び費用に関する規程の改正 報告事項 1. 平成 28 年度地区子ども会推進研究会について 2. 平成 29 年度各地区育成研究会について 3. 平成 29 年度各地区 JL 研修大会について 4. 平成 29 年度事務担当者会議について 5. 平成 28 年度共済加入状況について 6. 子ども会推奨マークについて 新規に 3 社を認定商品として承認	承認 承認 承認 承認

<p>第2回 平成29年 5月10日</p>	<p>出席者 14名</p> <p>欠席者 0名</p> <p>監事出席 0名</p> <p>監事欠席 1名</p>	<p>1. 平成28年度事業報告及び収支決算書(計算書類)等の承認の件</p> <p>2. 監事選任の件 梅本寛人弁護士</p> <p>3. 共済規程改正の承認の件</p> <p>4. 全国子ども会安全啓発公認指導者資格認定規程改正の承認の件</p> <p>5. 平成29年度定時総会の議題について</p> <p>6. 監事監査報告</p> <p>7. 報告事項 なし</p>	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p>
<p>第3回 平成29年 5月30日</p>	<p>出席者 14名</p> <p>欠席者 0名</p> <p>監事出席 1名</p> <p>監事欠席 1名</p>	<p>1. 新規会員(5名)の承認の件</p> <p>2. 理事の選任の件</p> <p>3. 全国子ども会安全啓発公認指導者資格認定規定について</p>	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p>
<p>第4回 平成29年 9月14日</p>	<p>出席者 13名</p> <p>欠席者 1名</p> <p>出席監事 1名</p> <p>欠席監事 1名</p>	<p>1. 子ども会安全共済会審査委員承認の件</p> <p>2. 表彰規定改正承認の件</p> <p>3. 共済会の単位子ども会申込のシステム化について</p> <p>4. 共済会「子ども会に入ろう」リーフレットの変更に 関して</p> <p>(協議事項)</p> <p>(1) 平成30年度総会の日程の件</p> <p>(2) 全国子ども会連合会運営費規程の改正の件</p> <p>(3) 法人の管理費用に充てる金額の変更の件</p> <p>(4) 大規模修繕工事の実施の件</p> <p>(5) 地区育成研・地区ジュニア・リーダー研修大会の 全子連主催の意義</p> <p>(6) 全子連の来年度の取り組み</p> <p>(7) 共済事業の件</p> <p>(報告)</p> <p>(1) 田村裕一郎弁護士解除の件</p> <p>(2) 全子連ユース運営会議の件</p> <p>(3) 執行理事業務報告</p>	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>次回提案</p> <p>次回提案</p> <p>次回提案</p> <p>次回提案</p> <p>今後検討</p> <p>今後検討</p> <p>今後検討</p>

		(4) 内部監査委員任命の件 (5) 子ども会推奨マーク認定	
第5回 平成29年 12月21日	出席者 12名 欠席者 1名 監事 2名 監事 欠席者 0名	1. 副会長選任の件 2. コンプライアンス担当理事の任命 3. 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会について__開催自粛について 4. 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会について__30年7月の開催について 5. 全国子ども会連合会運営費規程の改正の件 6. 法人の管理費用にのうち協議事項 7. 平成30年度事業計画(案) 8. 平成30年度予算 9. コンプライアンス研修会の実施 10. 公益社団法人全国子ども会連合会の理念の採択 11. 定款改正の件 12. 臨時総会の開催について 13. 「ケガ防止対策」指導者養成講習会について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第6回 平成30年 1月24日	出席者 12名 欠席者 1名 監事出席者 1名 監事欠席者 1名	1. 新規会員(1名)の承認の件 富山県児童クラブ連合会 代表者 舘勇将	承認
第6回 平成30年 1月24日	出席者 12名 欠席者 1名 監事出席者 1名 監事欠席者 1名	1. 会長の選任 丸山康昭会長の辞任に伴い河本功氏を選任 2. 副会長の選任 池田龍男理事を選任 3. 会長の業務執行に係る職務の代行について 副会長の順序の決定	承認 承認 承認

5. 内部監査の実施

今期は実施せず。

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

 公益社団法人
全国子ども会連合会